

2026 年度 BEST ワークショップ（設備編）

建築設備シミュレーションの実務活用をテーマに、BEST 専門版の最新機能や効果的な活用方法を学べるワークショップを開催します。

研究者・実務者による講演に加え、統合モジュールを用いたシステム構築や実測データを活用した熱源システム検討を体験いただけます。また、空調モデルの効率的な構築手法や最新ツールの活用事例についても紹介します。

シミュレーション活用の実情を知るインタビュー企画や、講師陣とのディスカッションも予定しており、BEST をこれから利用する方はもちろん、さらなる活用を目指す方にもおすすめの内容です。

実務に役立つ知識と技術の習得にお役立てください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

※あらかじめプログラムをインストールしたパソコンにて、実際の操作を見ながら、具体的な使い方を学んでいただくことができます（**利用期限付きプログラムを配布します。**）

対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・BEST フルユーザー ・BEST-H(住宅環境 設計ツール)ユーザー ・BEST-H(住宅環境・健康評価ツール)ユーザー ・BEST 省エネ基準対応 ツールユーザー ・BEST アカデミックユーザー
開催日	2026 年 11 月 20 日（金） 13：30～17：00
会 場	株式会社日本設計 住所：東京都港区虎ノ門 1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー34 階
方 式	<p>・対面式および Zoom（ウェビナー形式）を使用したハイブリッド講習会</p> <p>注 1) 安定したインターネット環境下でご参加下さい。また Zoom 最新版へのアップデートを推奨します。</p> <p>注 2) 使用している Web ブラウザが IE（Internet Explorer）では正しく機能しないことがあります。Microsoftedge、Chrome 等の他のブラウザをご使用下さい。</p>
参加費	無料
定 員	40 名
申込方法	▶ お申込みはこちら
受付期間	2026 年 10 月 30 日（金）～11 月 16 日（火）
その他	講習会当日は BEST プログラムの実習をするためのノートパソコン（AC アダプター共）をご持参ください。（利用期限付きプログラムを配布します。）会場に受講者用のパソコン電源の準備はございますが、インターネットは使用できません。事前に資料・データ・プログラムをダウンロードいただきプログラムの動作確認をしてから会場にお越し下さい。

【BEST の作動環境について】

各種 BEST は、下記の環境において、各種マニュアルに記載の例題データが作動することを確認しています。（下記以外の作動環境については、確認を行っていません）

OS	Microsoft® Windows® 11 日本語版(64 ビット版)
----	--------------------------------------

また、推奨作動環境は以下の通りです。

OS	Microsoft® Windows® 11 日本語版(64 ビット版)	
CPU	Intel (R) Core i5 相当 以上	
メモリ	4GB 以上	
空き容量	2GB 以上	
解像度※	1600×900 以上	
その他の必要環境	Java3D1.5.1 以上 (一部機能で必要)	OpenGL 対応ビデオカード EXCEL2003 以上(一部機能で必要)
※高 DPI 設定には対応していません。画面レイアウトが崩れる場合は拡大率を 100%に設定してご使用ください。		

◇本申込みにより一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センターが取得する個人情報の利用目的は以下の通りです。

- ・本講習会に係る案内に関する連絡
- ・その他財団が開催する講習会・セミナーの案内

なお、個人情報保護法に定める事項については、当財団のホームページ(<https://www.ibecs.or.jp>)をご覧ください。当財団までお問い合わせ下さい。（電話：03-3222-6681）

■プログラム■（プログラムは、予告なく変更となる可能性があります）

13:30～13:40 はじめに

講師：石野 久彌 氏（東京都立大学名誉教授）

13:40～14:00 インタビュー

インタビュアー：石野 久彌 氏（東京都立大学名誉教授）

シミュレーションのエキスパートに対して、どのように利用されているか、どういう点に注意されているかをインタビューするものです。シミュレーションの実情を把握する一助になります。（20 分）

14:00～14:50 統合モジュールを用いたシステム構築

講師：長井 達夫 氏（東京理科大学教授）

BEST 専門版の特徴と計算法の原理について説明するとともに、システムの構築を簡単に行える「統合モジュール」によりシステムを構築する方法について、オフィス基準階の個別分散空調システムを入力・実行する実習を行います。（50 分）

……………（休憩 10 分）……………

15:00～15:30 実測値を境界条件とした熱源システムの検討

講師：飯田 玲香 氏（株式会社日建設計）

実測値から作成した二次側負荷を境界条件として、熱源システムを検討する方法を紹介します。境界条件データの準備から、境界条件モジュールへの設定、熱源テンプレートを用いたシステム構築・計算までの一連の手順を体験します。（30 分）

15:30～16:10 空調モデルの快速構築と自動容量調整

講師：二宮 博史 氏（株式会社日建設計）

BEST 専門版と設計ツールで空調モデルを手早く効率的に構築する方法について紹介します。専門版ではシーケンス接続を不要とした設備統合モジュールによる中央熱源方式のモデルの構築方法を、設計ツールでは新機能と強化された Excel の入出力機能を用いたモデルの構築方法をツールの実演で説明します。（40 分）

……………（休憩 10 分）……………

16:20～16:50 ディスカッション

コーディネータ：長谷川 巖（株式会社日建設計）

BEST の使い方や結果についてのご疑問にお応えするとともに、シミュレーションツールのあり方などについて幅広く意見交換します。（30 分）

16:50～17:00 まとめとアンケート